

## 「暴力のない社会をめざして」

～DV 加害者の心理と加害者プログラムを通して考える被害者支援～

令和4年11月5日、特定非営利活動法人 DV 対策・予防センター九州 理事長の原健一さんを愛媛県男女共同参画センターにお迎えしてセミナーを開催いたしました。



### 【講師】

## 原 健一さん

特定非営利活動法人 DV  
対策・予防センター九州  
理事長

前内閣府男女共同参画  
会議女性に対する暴力に  
関する専門調査会委員

「DV 加害者の心理と加害者プログラムを通して考える被害者支援」というテーマでご講演いただきました。

DV と依存症（アディクション）、加害者の認知の歪み、ジェンダーの視点や無意識下の恥の視点の重要性、予防的な子どもたちへの DV 未然防止教育の取り組み等、総合的な支援策を分かりやすく教えていただきました。また、脳は生涯にわたり回復するという希望が持てる研究にも触れることができました。

また、加害者プログラムは生涯にわたり継続することの有効性や、人と人との繋がりの中で支援者の存在は重要だということも再認識しました。

### 《参加者の声》

- ・最新の情報が聞けて仕事に活かしたい。DV と虐待の関係が論理的に分かった。
- ・様々な所にジェンダーの視点を入れることは重要だと思う。
- ・現時点での DV 加害者の対策を知ることが出来てよかった。
- ・依存、DV 等全てが複合的に関わっているため、今日の前にあることから向き合いたいと思った。
- ・被害者に親身に関わるという基本姿勢の大切さを再認識した。
- ・是非、使いやすい実効性のあるプログラムがほしい。使えるようになりますように。  
などのお声をいただきました。



この他にもたくさんのご意見ご感想をいただきました。

ご参加の方には新型コロナウイルス感染防止にもご協力いただき、ありがとうございました。